

新ひだか町地域防災研修会・新ひだか町V連絡協議会ボランティア研修会

「自分と大切な人を守るために～今、わたしにできること～」

第1部 非常持出品をそろえてみよう！家族の命と暮らしを守るために

第2部 ココロもカラダもホツとする ☺ 足湯ボランティア講座

12月15日(日)、新ひだか町社会福祉会館において、新ひだか町地域防災研修会(ボランティア連絡協議会との共催)を開催しました。

研修会は午前、午後の2部構成となっており、午前の第1部は、親子や子どもに関わる地域の方を対象に、「非常持出品をそろえてみよう」というテーマで実施。

地震が起こった時を想定し、危険から身を守るために必要なことや、避難する際に持ち出す「非常持出品」について一緒に考えていきました。

それぞれでリストアップした非常持出品を実際に購入して、お互いに見せ合いながら「家族構成によって必要なものが違う」「今回参加できなかった家族や友人とも一緒に考えてみたい」など、活発な意見交換が行われました。

午後からの第2部は、町内で活躍するボランティア実践者や、これからボランティア活動を始めてみたいという方を対象に「足湯ボランティア講座」を実施。

足湯ボランティア活動は、バケツやタライを用

いた足湯と手のマッサージを提供しながら、相手のお話しを傾聴し、会話を楽しむことのできる、誰にでも始めやすい活動です。

参加者からは「まずは家族で練習。慣れたら近所の一人暮らしのお年寄り」にもやってあげたい「地域のサロンでも提供してみたい」「一人で始めるのは、ちよつと勇気がいるから、グループを組んで活動してみたらどうか」など、様々な意見が挙げられました。



講師の菅原清香氏(一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン)は、「自分たちの暮らしや地域について、大人も子どもも一緒に考えていく機会はとても大切。普段から災害に備えて必要なものを揃えたり、お互いに助け合える人と人のつながりを構築したりしておくことで、災害にも強い、人づくり、地域づくりができる」ことを参加者へ伝えていました。